(第1面)

#### 産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月30日

東京都知事 殿

提出者 〒105-7360 住 所 東京都港区東新橋1-9-1 株式会社 安藤・間 LCS事業本部 氏 名 執行役員LCS事業本部長 酒井 喜壽

> (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-3575-6140

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業場の名称	株式会社 安藤・間 LCS事業本部
事	業場の所在地	東京都港区東新橋1-9-1
計	画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該	を事業場において現に行	fっている事業に関する事項
	①事業の種類	大分類 : 建設業 中分類 : 総合工事業
	②事業の規模	資本金: 17,006百万円 完成工事高: 357,473百万円 (LCS事業本部: 19,145百万円)
	③従 業 員 数	全社:3,295人(LCS事業本部:208人)
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別紙の通り

(日本産業規格 A列4番)

産業	<b>É廃棄物の処理に係る</b>	管理体制に関する事項		
	(管理体制図)			
		別紙「建設副産物管	理組織図」通り	
産業	美廃棄物の排出の抑制!	こ関する事項		
		【前年度(令和5年度)実	<b>奏績</b> 】	
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
		排 出 量	0.61 t	254.55 t
	①現状	(これまでに実施した取年1回の集合教育で産廃管パトロール等で、作業所導を行った。	理についての指導・教	対育を実施している。 し、排出抑制対策の指
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
		排出量	1.00 t	200.00 t
	②計画	(今後実施する予定の取再利用や転用にて発生を パトロールによる指導 余分な資材の持込管理に 工程管理による廃棄物排 上記の廃棄物管理方法を	抑制する よる抑制 出量の抑制	排出抑制を図る。
産業	-   	る事項		
	①現状	(分別している産業廃棄年度混廃原単位目標を設め、管理し取り組んだ。		
	②計画	(今後分別する予定の産 廃棄物保管場所の確保 作業所毎に環境行動計画 単品分別の推進と看板掲	を作成し管理する。	

	廃棄物の		金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
排	出	量	906. 21 t	965. 90 t	708. 41 t	45. 05
<b>【日抽】</b>						
【目標】		1 <del>1</del> ¥ =	V E 1 77		->->	際フィー・リー
産業	廃棄物の		金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
		)種類 量	金属くず 800.00 t	ガラス陶磁器等くず 800.00 t	コンクリート片 500.00 t	廃アスファルト 30.00
産業	廃棄物の					

土木	廃棄物の	)種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
排	出	量	1,079.09 t	295. 94 t	47.08 t	154. 47
【目標】						
産業	廃棄物の	種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
排	出	量	800.00 t	200.00 t	30.00 t	100.00

排	廃棄物の 出 出	量		0.68	t	建設混合廃棄物 56.51	t	廃蛍光ランプ類 5. 98	t	_
			1			1				
【目標】										
	廃棄物の	)種類	繊維くず			建設混合廃棄物		廃蛍光ランプ類		
	<b>廃棄物</b> の 出	)種類 量	繊維くず	1.00	t		t		t	_
産業			繊維くず	1.00	t		t		t	_

1ら行う産業廃棄物の	)再生利用に関する事項		
	【前年度(令和5年度)	実績】	
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
①現状	自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	- t	- t
少先小	(これまでに実施した) 建設汚泥の自ら利用計画		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の) 建設汚泥やこれから増え でいく。		自ら利用促進に取組ん
ら行う産業廃棄物の	つ中間処理に関する事項		
	【前年度(令和5年度)	ı	T
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
①現状	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した) 自社で熱回収や中間処理		CV 'o
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t
②計画	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の) 自社で熱回収や中間処理	取組) 2の施設を保有していた	?V \ <sub>0</sub>

#### (第3面) - 2自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 金属くず ガラス陶磁器等くず コンクリート片 廃アスファルト 自ら再生利用を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 金属くず ガラス陶磁器等くず コンクリート片 廃アスファルト 自ら再生利用を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 ガラス陶磁器等くず 産業廃棄物の種類 金属くず コンクリート片 廃アスファルト 自ら熱回収を行った t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量した産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 金属くず ガラス陶磁器等くず コンクリート片 廃アスファルト 自ら熱回収を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量する産業廃棄物の量

#### 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 レンガ破片など 石綿含有産業廃棄物 紙くず 木くず 自ら再生利用を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 レンガ破片など 石綿含有産業廃棄物 紙くず 木くず 自ら再生利用を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 紙くず 木くず レンガ破片など 石綿含有産業廃棄物 自ら熱回収を行った t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量した産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 紙くず 木くず レンガ破片など 石綿含有産業廃棄物 自ら熱回収を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量する産業廃棄物の量

#### 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら再生利用を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら再生利用を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら熱回収を行った t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量した産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら熱回収を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量する産業廃棄物の量

自ら	行う産業廃棄物の埋立	立処分又は海洋投入処分に		
		【前年度(令和5年度)第	実績】	
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	<ul><li>①現状</li></ul>	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	-	t – t
	U 9°C 1/1	(これまでに実施したE これまでに自社で埋立や		たことは無い。
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
	②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃乗物の量	-	t – t
	(a) 11 (b)	(今後実施する予定のEこれからも自社で埋立や		予定は無い。
産業	美廃棄物の処理の委託!	こ関する事項		
		【前年度(令和5年度)等	実績】	
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
		全処理委託量	0. 61	t 254.55 t
		優良認定処理業者 への処理委託量	0. 50	t 55. 42 t
	①現状	再生利用業者への 処理委託量	0. 61	t 190.91 t
		認定熱回収業者 への処理委託量	-	t – t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		t - t
		(これまでに実施した) 汚泥、がれき、木くず、 再資源化が難しいがうス腐ない。また、廃プラスチ	金属は、ほぼ100%再 B磁器類は分別しても	中々再資源化率が上がら

# 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

# 【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

# 【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

# 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

### 【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	金属くず		ガラス陶磁器等くず		コンクリート片		廃アスファルト	
全処理委託量	906. 21	t	965. 90	t	708. 41	t	45. 05	t
優良認定処理業者 への処理委託量	369. 33	t	398. 56	t	415. 67	t	1.70	t
再生利用業者への 処理委託量	906. 21	t	482.95	t	708. 41	t	45. 05	t
認定熱回収業者 への処理委託量	-	t	-	t	-	t	-	t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	_	t	-	t		t	_	t

# 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

# 【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 乗 物 の 量	- t	- t	- t	- t

# 【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

### 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

### 【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など		石綿含有産業廃棄物		紙くず	木	くず	
全処理委託量	1, 079. 09	t	295. 94	t	47. 08		154. 47	t
優良認定処理業者 への処理委託量	213. 11	t	271. 04	t	10.72		29. 64	t
再生利用業者への 処理委託量	1, 079. 09	t	-	t	40.02		152. 92	t
認定熱回収業者 への処理委託量	-	t	-	t	- 1		-	t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	-	t	-	t	- 1		-	t

#### (第4面)-4 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 産業廃棄物の種類 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う t t t t 産業廃棄物の量 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 繊維くず 廃蛍光ランプ類 建設混合廃棄物 全処理委託量 0.68 t 56. 51 t 5.98 t t 優良認定処理業者 0.48 29. 26 4.50 t t t t への処理委託量 再生利用業者への 0.48 42.38 5.98 t t 処理委託量 認定熱回収業者 t t t t への処理委託量 認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 t t t t への処理委託量

(第5面)

		(第5亩	II <i>)</i>	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック類
		全処理委託量	1.00 t	200.00 t
		優良認定処理業者 への処理委託量	1.00 t	100.00 t
		再生利用業者への 処理委託量	1.00 t	190.00 t
		認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	②計画	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		- t
		(今後実施する予定の) 再資源化率が高い汚泥、 資源化率の低いガラス陶 託を中心に行い、出来る を増やし、再資源化率の 分別の推進を図り再資源	がれき、木くず、金属 関磁器類については、優 限りの単品分別により 向上を図る。プラスチ	良認定処理業者への委 再生利用業者への委託
<b>※</b> 事	事務処理欄			

(第5面)-2

				(第5面)-2					
【目標】									
	産業廃棄物の種類	金属くず		ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト			
	全処理委託量	800.00	t	800.00 t	500.00 t	30.00 t			
	優良認定処理業者 への処理委託量	400.00	t	400.00 t	300.00 t	5.00 t			
	再生利用業者への 処理委託量	800.00	t	500.00 t	500.00 t	30.00 t			
	認定熱回収業者 への処理委託量	-	t	- t	- t	- t			
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		t	- t	- t	- t			

(第5面)-3

-	(第5面) — 3									
	【目標】									
	産業廃棄物の種類	レンガ破片など		石綿含有産業廃棄物		紙くず		木くず		
	全処理委託量	800.00	t	200.00 t	-	30.00	t	100.00	t	
	優良認定処理業者 への処理委託量	200.00	t	200.00 t	-	15. 00	t	50.00	t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	800.00	t	- t	-	30.00	t	100.00	t	
	認定熱回収業者 への処理委託量	-	t	- t		-	t	-	t	
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		t	- t	-	-	t	-	t	
		-								

(第5面)-4

		(弗 5 囲) — 4		
【目標】				
産業廃棄物の種類	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類	
全処理委託量	1.00 t	30.00 t	5.00 t	-
優良認定処理業者 への処理委託量	0.90 t	20. 00 t	4.00 t	
再生利用業者への 処理委託量	1.00 t	25. 00 t	5.00 t	
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	-

#### 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。